

# 令和3年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



## 共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

### 【第4講座を開催して】

9月30日(木)、秋吉公民館において、令和3年度美祢市人権教育ふれあい講座(第4講座)が開催されました。

『インターネットにおける問題』と『プライバシーの保護』をテーマに、山口大学教育学部准教授 阿濱 茂樹 (あはま しげき) 氏に「ネット社会と人権～ネット社会から子どもたちを守るために～」と題して御講演いただきました。

御講演では、具体的なネットトラブルや人権侵害についての事案を提示くださり、利用者の悪意がない場合であっても、他の人を困らせたり、苦しめたりしてしまう場合があることを知ることができました。また、子どもたちがネット社会を生きていく中で、家庭におけるルール作りが大切であること、子どもが正しく利用するための環境を整備することが大切であること等、大人としての責任を考える機会となりました。そして、子どもにばかり気を付けるように言うのではなく、大人がインターネット社会を正しく理解し、正しい使い方をしていくことの大切さについても考えることができました。



### 【受講者の主な感想】

- 先生の話は良かった。現在夫婦二人の高齢者家庭、子どもを育てるいつくしむエネルギーをもらいました。
- スマホ、タブレットなど触れさせる前に、ルール等を教えてあげられる環境を作ってあげないといけないと感じました。
- 最新のネット情報がよくわかりました。ありがとうございました。
- 親や教師が学んでおかなければ、子どもを守れないこともある。良い学びの機会となりました。
- 現代の子どもたちのネットに関する課題を知ることができました。子どもたち自身が自分でプライバシーを守れるよう指導していきたい。
- 子育てに役立ちます。
- これからのインターネットの使い方の参考になりました。特に子供が利用する場合には大人がよく考えて使わせないと怖いと思いました。
- 技術の進歩によりネットの問題が多様化しているため、新しい情報を取得する必要がある。本日の講座で深めることができた。
- 自分もSNSをよく使うので気を付けていこうと改めて思った。自分だけでなく、周りの人にも配慮しながら写真などを使いたい。

- SNS への情報発信（写真等の投稿）のルールについては大人も守れていないが、学校等で子どもたちに教えることが必要だと思った。
- 丁寧な説明でした。インターネットに情報を出すことがより怖くなりました。
- 子どものタブレット使用について参考になりました。
- ネット社会にあふれている危険について改めて認識することができました。
- ネット社会の中で生じている人権問題について知ることができました。知らず知らずのうちに人権侵害を引き起こすことがあることに留意し、外に渡す情報について慎重に吟味しなくてはいけないと思いました。情報モラルというレベルでなく、情報リテラシーのレベルで教えていく必要があると聞きますが、その辺りをもう少し聞けるとよかったです。
- 詳しい説明で大変良かった。理論的な構成になっている。
- 身近な内容でよかった。もう少し、最新の情報がほしかった。（最近、厳罰化された（される）法律でどう変化していくか など）
- ネットによる様々なトラブルを知ることができました。ネット上ではミスコミュニケーションも起きやすいとのことでした。相手のことを考えたコミュニケーションが必要だと思いました。FB等の投稿には注意が必要と学びました。少し怖くなりました。
- ネット社会で気を付けなければいけないことをわかりやすく講演していただき、便利な反面怖さがあり、十分気を付けなければいけないことを痛感しました。
- 「それって考えすぎなんじゃないの…」とも思えることが多かったが、SNS発信には気を付けなくてはならないのかもしれないかもね…。
- こういう講座を学校の子どもたちに聞かせてほしい。SNSが当たり前の世の中で、子どもにはばかり気を付けるようにいうのではなく、大人がきちんと理解をし、正しい使い方をしないといけないと思った。
- とても分りやすかった。（ルール作りについてもっと聞きたかった。）まずは自分の子どもに伝えていきたい。また、職場でも生かしていきたい。
- 18歳くらいの年ごろの子供に聞かせたい内容でした。
- 児童生徒のスマホのトラブル・被害（加害）に巻き込まれるケースも増えてきている。教育課題の一つだと感じている。学生さんの事例をあげていただき、とても分りやすかったです。ありがとうございました。
- 自分も子育てをするうえで、気を付けていかなければと思う内容でした。
- 学生の時にすでに学んだ内容でした。
- インターネットに公開すると、それがどんなことを起こすかということがよくわかり、よかったですと思う。
- 具体的で、最新の情報でよくわかりました。
- 知らないうちにトラブルに巻き込まれたり、情報を発信したりしているのは怖いなと思った。私たち大人にできることが何かしっかり考えたいと思った。
- 特に子供にとってのインターネットは怖いものだと改めて感じました。
- デジタルと隣り合わせの子どもを育てる立場として、常識ある行動と指導を心がけたい。
- ルール作成のコツがわかりやすかった。
- 改めて、ネット社会の便利さと恐ろしさを考える良い機会となりました。
- 発信した画像・情報は世界中の人が簡単に見られるわけであるから、そこをどこまでわかっているか、自分のプライバシーが守られているかを子どもたちに伝えていかなければならないと思った。
- 自分のプライバシーを守るための行動、知識をインターネットがとても身近になっている現代だからこそ、より重要性を考え、教えていく場を、情報モラル教室などを通して子どもたちに設けたい。
- 具体的なケースを紹介していただけだったのでよかったです。